



2016年12月15日

シスメックス、アステラス製薬及び第一三共による 血中循環がん細胞解析法構築に関する基本合意書締結について ～新たながんの診断の価値創出と医薬品研究活用に向けた共同研究に着手～

シスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長：家次 恒 以下「シスメックス」）とアステラス製薬株式会社（本社：東京都、代表取締役社長 CEO：畑中 好彦 以下「アステラス製薬」）、及び第一三共株式会社（本社：東京都、代表取締役社長兼 CEO：中山 讓治 以下「第一三共」）は血中循環がん細胞（以下「CTC」）^{※1}の解析法構築に関する基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

現在、がん治療では、患者さんに最適な治療法を提供するために、手術等で摘出されたがん組織内の細胞、タンパク質、遺伝子の検査が行われています（生体検査（バイオプシー））。

CTC は、がん組織から遊離し、血液中にごく微量に存在するがん細胞であり、他の臓器への転移を引き起こす可能性があると考えられています。このため、より正確に患者さんの病態を把握するために、CTC の数やその性質等の変化に関する多面的な解析をすることで、患者さんの病態予測や適切な治療の提供に有用な情報が得られる可能性が期待されており、世界中でさまざまな CTC 解析法に関する研究が行われています。

シスメックスは、これまでに診断や治療における患者さんの負担軽減を目指し、血液や体液中に存在する疾患由来の細胞、遺伝子、タンパク質などの微量成分を分析するリキッドバイオプシー^{※2}の樹立に向けた新たな検査方法の研究開発活動を推進してきました。

一方、アステラス製薬と第一三共は、病態の詳細理解、薬剤による治療効果が期待される患者さんの層別化、そして新薬研究の情報源として CTC に着目しており、新たな CTC 解析法を活用することで、さらに効率的な医薬品の研究開発を推進することが可能になるものと考え、より精度の高い CTC 解析法を共同で探索していました。

このたび、シスメックス、アステラス製薬及び第一三共（以下「3社」）は、CTC 解析法の構築を目的とした共同研究を進めるための協力体制構築に関する基本合意書を締結しました。

本契約に基づき、3社は、リキッドバイオプシーを活用した診断薬や医薬品の研究開発だけでなく、臨床検査における標準化も視野に入れた新たな CTC 解析法の確立に取り組みます。

3社は、本活動を通じて確立する CTC 解析法により、診断と治療に新しい価値を創造し、がん患者さんへの一日も早い革新的な医療の提供を目指します。

【注釈】

※1 CTC (Circulating Tumor Cells)

「血中循環がん細胞」または「末梢血循環がん細胞」。原発巣または転移巣から遊離し、血中へ浸潤した細胞を指す。

※2 リキッドバイオプシー

腫瘍など組織の一部を採取して行っていた生体検査（バイオプシー）と同等の性能でかつ患者さんに負担の少ない検査を血液・体液検査で実現しようとするもの。

以上

<問い合わせ先>

シスメックス株式会社

IR・広報部

Tel : 078-265-0508

アステラス製薬株式会社

広報部

Tel : 03-3244-3201

第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部

Tel : 報道関係者の皆様 03-6225-1126

株式市場関係者の皆様 03-6225-1125